



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月6日

上場会社名 株式会社 バロー 上場取引所 東名
 コード番号 9956 URL <http://www.valor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 正美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 志津 幸彦 (TEL) 0572-20-0804
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	310,248	8.7	11,322	32.6	11,937	32.9	5,614	68.7
23年3月期第3四半期	285,378	8.6	8,541	17.1	8,984	17.4	3,327	△5.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,879百万円 (76.5%) 23年3月期第3四半期 3,332百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	110.24	109.58
23年3月期第3四半期	65.34	64.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	204,659	66,487	32.1
23年3月期	190,065	61,821	32.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 65,641百万円 23年3月期 60,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	419,500	10.6	14,100	14.2	14,200	10.8	6,400	51.2	125.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	52,661,699株	23年3月期	52,661,699株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,732,021株	23年3月期	1,731,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	50,930,262株	23年3月期3Q	50,931,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の停滞、欧州金融危機、歴史的な円高、株価の低迷等により、景気の先行きは依然不透明な状況となっています。

小売業界におきましては、雇用情勢の厳しさによる個人消費の冷え込みや、原発事故の放射能汚染による食材への厳しい安全への意識の高まり等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図るとともに、より高品質・低価格を目指した商品開発、従業員教育充実によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。グループ全体の店舗数は、6月30日にドラッグストア2店舗を出店した時点で500店舗に到達し、当第3四半期末では524店舗を擁しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期比8.7%増収の3,102億48百万円となりました。また、営業利益は前年同期比32.6%増加の113億22百万円に、経常利益は前年同期比32.9%増加の119億37百万円となり、それぞれ増益を達成いたしました。四半期純利益につきましては、前年同期のような特別損失14億83百万円(資産除去債務に関する会計基準変更によるもの)の計上がなくなったことから、前年同期比68.7%増の56億14百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<スーパーマーケット事業(SM)事業>

SM事業の営業収益は2,215億91百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は77億23百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

基幹事業であるSM事業では、引き続き業容拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMバロー16店舗、ユース1店舗、タチヤ1店舗を新規に出店し、新店と交代する形で1店舗を閉鎖(SMバロー)いたしました。この結果、第3四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で219店舗となりました。

商品政策では、自主企画商品において高品質・低価格を一層追求する一方で、自社物流網の活用により、生鮮食品の強化にも注力いたしました。また、11月24日に開店したSMバロー各務原中央店(岐阜県各務原市)では、品揃えを厚くする一方で特売チラシによる販促を廃し、新たな店舗モデルのあり方を追求しております。

このような施策がご好評をいただいたことなどから、8・9月には天候の影響により客数が伸び悩む局面があったものの、当第3四半期累計におけるバロー本体のSM既存店売上高は、前年同期比で1.8%伸長いたしました。

<ホームセンター事業(HC)事業>

HC事業の営業収益は319億63百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は17億23百万円(前年同期比58.8%増)となりました。

同事業につきましては、節電要請の高まりを受けて省エネ効果の期待できる商品や、夏場の高温対策に有効な商品などが注目され、販売が増加いたしました。これに加えて、昨年を通して行った専門性強化を目的とした売り場改装がお客様にご支持いただいたこともあり、当第3四半期累計の既存店客数は前年同期比で5.5%伸長し、同じく既存店の売上高は前年同期比8.3%と大幅に伸長いたしました。また、11月30日には岐阜県各務原市にHCバロー各務原中央店を出店し、3期ぶりに出店を再開いたしました。その一方で老朽化した店舗2店舗を閉鎖し、第3四半期末現在の店舗数は35店舗となりました。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は412億58百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は11億52百万円(前年同期比43.1%増)となりました。

同事業につきましては、静岡県への初出店を含む14店舗の出店と1店舗の閉鎖により、当第3四半期末の店舗数は187店舗となりました。また、27店舗で改装を実施し、営業力の強化を図りました。商品面では、震災以降に生活必需品の需要が増加したのに加え、夏場の気温上昇に関連した季節商品も前年比で顕著な伸びを示しました。このほか、全店で低価格戦略を推進したことの効果もあり、ドラッグストアの当第3四半期既存店売上高は前年同期比で3.0%増加いたしました。また、荒利益率・販売管理費率ともに前年同期比で改善を果たしたことにより、大幅な増益を達成することが出来ました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は64億41百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は1億30百万円(前年同期は営業損失24百万円)となりました。

同事業につきましては、タブレット端末を利用した見学案内システムや顧客満足度向上プロジェクト等により、12月末の会員数が前年同期比で3.2%増と純増基調を維持しております。出退店の変動はなく、店舗数は前期末同様51店舗でしたが、荒利益率の改善により、営業損益で黒字転換を達成することが出来ました。

<流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は47億95百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は21億34百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図って参りました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は41億98百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は2億39百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

当該事業には、ペットショップ事業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉事業等が含まれております。ペットショップ事業につきましては、1店舗を新たに出店し、当第3四半期末の店舗数は17店舗となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ145億94百万円増加し、2,046億59百万円となりました。これは主に現金及び預金47億17百万円、棚卸資産42億65百万円及び有形固定資産59億76百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ99億27百万円増加し、1,381億71百万円となりました。これは主に、買掛金80億85百万円、設備支払手形21億77百万円及び社債69億49百万円が増加したものの、未払法人税等29億78百万円及び短期借入金57億20百万円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ46億66百万円増加し、664億87百万円となり、自己資本比率は32.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績につきましては、平成23年5月10日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,800	18,517
受取手形及び売掛金	4,330	5,696
商品及び製品	19,581	23,786
原材料及び貯蔵品	353	413
その他	7,486	5,582
貸倒引当金	△22	△20
流動資産合計	45,530	53,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,973	66,965
土地	33,420	33,108
その他(純額)	10,067	12,364
有形固定資産合計	106,461	112,438
無形固定資産		
のれん	1,048	1,118
その他	5,515	5,604
無形固定資産合計	6,564	6,722
投資その他の資産		
差入保証金	21,879	22,428
その他	10,185	9,584
貸倒引当金	△555	△490
投資その他の資産合計	31,509	31,521
固定資産合計	144,535	150,682
資産合計	190,065	204,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,370	34,455
短期借入金	34,244	28,524
未払法人税等	4,336	1,358
賞与引当金	1,756	754
引当金	546	571
資産除去債務	5	24
その他	11,375	19,934
流動負債合計	78,636	85,623
固定負債		
社債	4,148	7,212
長期借入金	27,502	27,574
退職給付引当金	2,225	2,220
引当金	1,334	1,363
負ののれん	184	144
資産除去債務	3,218	3,445
その他	10,993	10,588
固定負債合計	49,607	52,548
負債合計	128,244	138,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,670	12,670
利益剰余金	38,861	43,253
自己株式	△2,215	△2,216
株主資本合計	61,233	65,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	15
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益累計額合計	△235	16
新株予約権	344	353
少数株主持分	478	492
純資産合計	61,821	66,487
負債純資産合計	190,065	204,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	274,956	298,924
売上原価	210,461	228,034
売上総利益	64,494	70,889
営業収入	10,422	11,324
営業総利益	74,917	82,213
販売費及び一般管理費	66,375	70,891
営業利益	8,541	11,322
営業外収益		
受取利息	128	132
受取配当金	32	31
持分法による投資利益	39	46
受取事務手数料	436	493
受取賃貸料	589	633
負ののれん償却額	40	40
その他	541	632
営業外収益合計	1,808	2,008
営業外費用		
支払利息	465	453
不動産賃貸原価	850	857
その他	49	83
営業外費用合計	1,365	1,394
経常利益	8,984	11,937
特別利益		
固定資産売却益	2	72
前期損益修正益	10	—
受取補償金	173	40
持分法による投資利益	65	20
退職給付制度改定益	—	127
その他	51	91
特別利益合計	303	352
特別損失		
固定資産売却損	5	90
固定資産除却損	222	115
投資有価証券評価損	215	671
減損損失	54	447
前期損益修正損	8	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
その他	167	116
特別損失合計	2,158	1,442
税金等調整前四半期純利益	7,129	10,847
法人税、住民税及び事業税	3,950	4,492
法人税等調整額	△150	727
法人税等合計	3,799	5,220
少数株主損益調整前四半期純利益	3,329	5,627
少数株主利益	2	12
四半期純利益	3,327	5,614

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,329	5,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	251
為替換算調整勘定	—	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	2	252
四半期包括利益	3,332	5,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,330	5,866
少数株主に係る四半期包括利益	1	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,129	10,847
減価償却費	6,552	7,025
のれん償却額	405	424
減損損失	54	447
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△66
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	△61
受取利息及び受取配当金	△161	△163
支払利息	465	453
持分法による投資損益(△は益)	△105	△66
固定資産除却損	222	115
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,109	△1,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,429	△4,249
仕入債務の増減額(△は減少)	8,370	8,039
その他	2,512	3,400
小計	22,413	24,845
利息及び配当金の受取額	63	61
利息の支払額	△374	△336
法人税等の支払額	△4,237	△7,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,865	17,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,400	△9,882
有形固定資産の売却による収入	480	575
無形固定資産の取得による支出	△359	△415
差入保証金の差入による支出	△813	△2,178
差入保証金の回収による収入	834	1,729
預り保証金の受入による収入	476	94
預り保証金の返還による支出	△532	△382
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△27
事業譲受による支出	△454	—
その他	△46	△1,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,813	△11,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,045	△2,611
長期借入れによる収入	9,800	10,008
長期借入金の返済による支出	△10,511	△13,150
社債の発行による収入	—	6,961
社債の償還による支出	△144	△114
配当金の支払額	△965	△1,170
その他	△352	△412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,128	△489
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,923	4,887
現金及び現金同等物の期首残高	9,259	13,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,183	18,434

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	203,310	29,361	37,985	6,380	4,350	281,388	3,832	285,221
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,133	11	1	1	13,746	14,894	142	15,036
計	204,443	29,372	37,987	6,382	18,096	296,283	3,975	300,258
セグメント利益又は損失 (△)	5,950	1,085	805	△24	1,882	9,698	212	9,910

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,698
「その他」の区分の利益	212
セグメント間取引消去	508
全社費用(注)	△1,877
四半期連結損益計算書の営業利益	8,541

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	221,591	31,963	41,258	6,441	4,795	306,050	4,198	310,248
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,346	12	7	1	15,056	16,424	290	16,714
計	222,938	31,976	41,265	6,442	19,851	322,474	4,488	326,963
セグメント利益	7,723	1,723	1,152	130	2,134	12,864	239	13,103

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,864
「その他」の区分の利益	239
セグメント間取引消去	442
全社費用(注)	△2,223
四半期連結損益計算書の営業利益	11,322

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。